

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（社会福祉法人恩賜財団済生会奈良病院 第1報）

社会福祉法人恩賜財団済生会奈良病院の1つの入院病棟において、入院患者13名及び職員4人の感染が判明しました。

感染状況及び調査結果から、院内感染（クラスター）事案であると判断しました。

1 発生場所

社会福祉法人恩賜財団済生会奈良病院（所在地 奈良市八条四丁目 643 番地）

2 感染者の概要

(1) 経緯

11月20日、病院内の1つの入院病棟に入院する患者が発熱を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。当該入院病棟の職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者13人（初発感染者1人を含む）及び職員4人の感染を認めました。

(2) 感染者（計17人）

ア 入院患者13人（市内13人）

【内訳】性別：男性4人、女性9人

年代：50代1人、60代1人、70代4人、80代2人、90代5人

イ 職員4人（市内4人）

【内訳】性別：男性1人、女性3人

職種：看護職員4人

年代：30代1人、40代2人、60代1人

3 病院の対応

・ 11月20日～

- ・ 当該入院病棟の消毒を実施。
- ・ 感染予防策の強化、徹底。
- ・ 当該入院病棟の入院患者及び職員に対し検査を実施。
- ・ 当該入院病棟の新規入院を中止。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。